

定住外国人子弟に対する キャリア支援

堀 永乃（一般社団法人グローバル人財サポート浜松）

©2021.HoriHisano

0.はじめに

©2021.HoriHisano

グローバル人材サポート浜松



外国人介護人材の育成



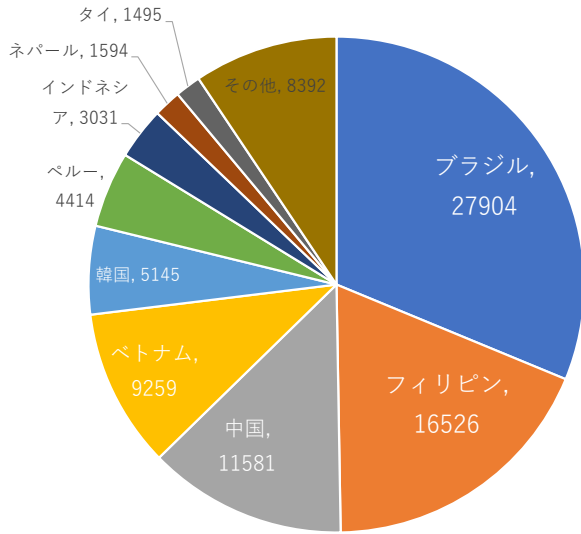
企業内日本語教育等における
人材育成としての日本語教育



大学生の社会貢献活動支援

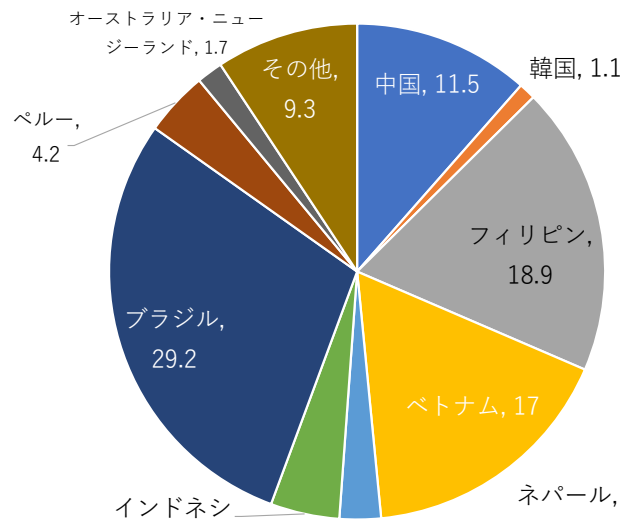
1. 静岡県下における外国籍児童生徒 の状況と課題

静岡県における外国人人口と労働者の状況



89,341人 平成30年12月末現在

外国人の住民基本台帳人口より掘作成



65,734人 令和2年10月末現在

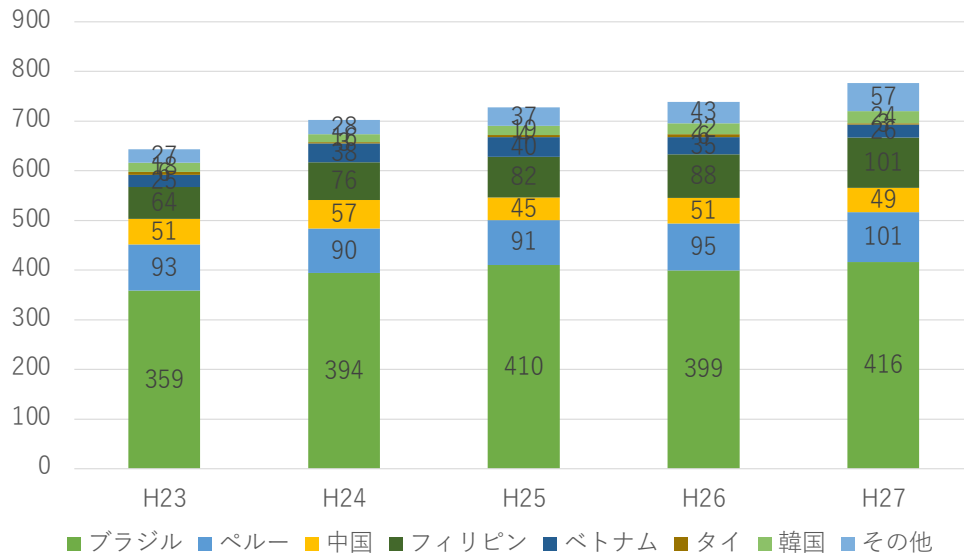
静岡県の「外国人雇用状況」より掘作成

©2021.HoriHisano

静岡県内外国籍生徒の状況

平成28年5月1日現在

県立高校における外国人生徒数の推移



■ ブラジル ■ ペルー ■ 中国 ■ フィリピン ■ ベトナム ■ タイ ■ 韓国 ■ その他

©2021.HoriHisano

静岡県教育委員会資料より掘抜粋

日本語指導が必要な高校生等の中退進路状況

- 中退率

	在籍している生徒数	中途退学した生徒数	中退率
日本語指導が必要な高校生等（特別支援学校の高等部は除く）	3, 933	378	9.6%
全高校生等(特別支援学校の高等部は除く)	2, 295, 416	28, 929	1.3%

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)文部科学省資料より掘抜粋

©2021.HoriHisano

日本語指導が必要な高校生の卒業後の進学率

	高等学校等を卒業した生徒数	高等学校等を卒業した後大学や専修学校などの教育機関等に進学した生徒	進学率
日本語指導が必要な高校生等	704	297	42.2%
全高校生等	750,315	533,118	71.1%

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)文部科学省資料より掘抜粋

©2021.HoriHisano

就職者における非正規就職率

	高等学校等を卒業した生徒数	高等学校等を卒業した後非正規または一時的に就職した生徒数	就職者における非正規就職率
日本語指導が必要な高校生等（全日制・定時制・通信制高校及び中等教育学校後期課程のみ）	245	98	40.0%
全高校生等（全日制・定時制高校及び中等教育学校後期課程のみ）	158,135	6,746	4.3%

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)文部科学省資料より掘抜粋

©2021.HoriHisano

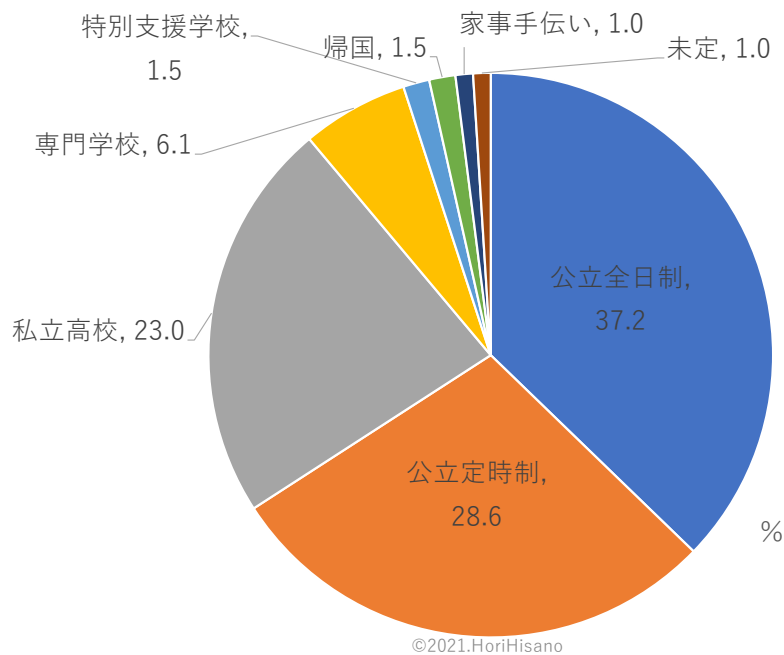
進学も就職もしていない者

	高等学校等を卒業した生徒数	高等学校等を卒業した後進学も就職もしていない生徒	進学も就職もしていない者の率
日本語指導が必要な高校生等	704	128	18.2%
全高校生等	750,315	50,373	6.7%

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)文部科学省資料より掘抜粋

©2021.HoriHisano

浜松市の外国籍生徒の高校進学率は88.8%



静岡県内のブラジル人学校(高等部)の状況

学校名	所在地	生徒数 (人)
ムンド・デ・アレグリア	浜松市西区	61
エスコラ・アレグリア・デ・サベール	浜松市東区	58
エスコラ・アウカンセ	浜松市中区	27
オブジェチーボ・デ・イワタ・チアホーザ	磐田市	20
セントロ・エドゥカシオナウ・ソヒゾ・デ・クリアンサ	菊川市	33
セントロ・デ・エンシーノ・ニッポ・ブラジレイロ	菊川市	41
合計		240

ブラジル人学校の状況

- 両親は「ブラジルへ帰国する」と言っているが、それがいつなのか、本当なのか定かではない。
- 保護者の意向が強い。
- 公立学校では言葉が通じなかったり、いじめにあったりなどして馴染むことができなかった生徒もいる。
- 日本の学校とブラジルの学校と行ったり来たり移動する生徒もいる。
- 日本語は必須科目ではないため、個人的に学ばなければならない。
- 授業は午前/午後の2部生で学年によって異なる。
- 美術、体育、音楽は特別授業で、部活も希望制。
- 家から学校まで送迎がある。
- 担任制ではなく、キャリアについて教える授業はない。

日本生まれ日本育ちの子どもも増え、保護者が子どもの進学を考えた場合は
中学校卒業前に公立の中学校への転校を選択する傾向がある

©2021.HoriHisano

2. 外国人学校でもSDGsが必要 [4 質の高い教育をみんなに]

©2021.HoriHisano

外国人生徒未来応援事業（静岡県委託事業）

- 期間：令和2年11月4日～令和3年3月12日
- 対象：ブラジル人学校（2校）高校1年生～3年生
- 日本語教育 100時間
- キャリア教育 10時間+特別セミナー
- インターンシップ体験（3日間）



本事業のポイント

- 日本語教育は単なる語学教育ではなく、生徒が**社会に出て日本語で何ができるようになるのか**を見据えた教育である
- 日本語ができるようになったという達成感を得られる「**成果**」のある**授業**を提供する
- キャリア教育は**<企業の理解促進>**と**<外国人生徒へのエンカレッジ>**の**両輪**で回す
- キャリア教育は家庭や学校では学べない日本での「**生き方**」を学ぶ
- SPIの実施で**生徒自身が自分のことを知る**ことができる
- インターンシップは単なる職場見学ではなく、**就労後がイメージできるように、実際の職場を体験し、日本人従業員から「がんばったね」をもらう自己肯定・承認欲求を担保する**ものである

事業の成果

- 生徒たちは「日本語会話が上手になった」、「話すのが上手になった」「ライフプランについて考えることができた」と総じて満足していることがわかった。
- 当初は懐疑的で帽子やパーカーのフードを取りたがらなかった生徒たちは、日本語の授業で自信がつき自分を表現するようになった。
- 企業15社がインターンシップの受け入れに賛同してくれた。
- ブラジル人学校で企業説明会をしたことから、企業は学校の実態を初めて知ることができた。
- 生徒は企業のリアルな現場を体験し、将来について考えることができた。

©2021.HoriHisano

課題

- 学校の送迎の時間が合わないと本事業の授業に参加できない。
- 学校による生徒の日本語能力判定(評価)が不十分である。
- インターンシップの制度を理解しない生徒がいた。
- インターンシップの会場(企業)までの移動手段がないことから参加をしなかった生徒もいる。(生徒は公共機関を知らない)
- キャリア教育の重要性について保護者の意識が乏しい。
- せっかく採用が決まったのに、就職までの期間が長すぎる、親が反対した(派遣の方が給与がいいから)ことを理由に就職を断念しなければならなかった生徒がいた。

©2021.HoriHisano

外国籍児童就学前学校体験教室



©2021.HoriHisano

- 日本の公立小学校へ入学する予定の外国籍児童を対象
- 入学する予定の小学校の春休み期間（3～5日間）
- 学校の文化体験を行う（授業、トイレ、給食、掃除、登下校）
- 体験教室の担い手は大学生
- 助成：三井物産株式会社
- 協力：浜松市、浜松市教育委員会

3. 外国人の就労支援のポイント



1 ステークホルダーをしっかりと巻き込んでいること

©2021.HoriHisano

2 日本語教育は文法の完璧さよりも良好な人間関係を作るツールである



©2021.HoriHisano

- 日本語で何ができるようになるのかを考えてはいる
- 文型シラバスや場面シラバスからの脱却→自分のことが自分で話せなければ、話そうとはしない
- 会話なしに人間関係は構築できない

ツールがなければ作ればいい！！



ロールプレイ

1. 認知症の鈴木信男さんは、毎日 夕方4時くらいになると「もう家に帰りたい」と言います。ずっと言い続けていますので、他の利用者も心配しています。どうしますか。



Part 2

Step 1



Step 2



Step 3



ジーナさんの話

きのう、タンさんが浜松へ遊びに来ました。タンさんはわたしの新しい友達です。2か月前、長野の霧祭り^{きりまつり}で初めて会いました。^①
 タンさんは名古屋に住んでいます。自動車会社で働いています。工場^{こうじょう}で自動車を組み立てています。^②
 タンさんは、おもしろくて、楽しい人です。背が高くて、かっこいいです。^③
 頭^{あたま}が良くて、何でもよく知っています。
 タンさんは結婚していません。28歳で、独身です。^④
 タンさんは良いカメラを持っています。タンさんの趣味はきれいな景色の写真を撮ることです。^⑤
 それで、きのう、2人で浜名湖へ遊びに行きました。とても天気良かったので、浜名湖から富士山が見えました。^⑥
 でも、タンさんが撮った写真を見せてもらいましたが、浜名湖と富士山の写真は1枚だけでした。ほとんど2人の写真でした。^⑦
 きれいな景色を見ながらたくさんおしゃべりしました。とても楽しい一日でした。^⑧

©2021.HoriHisano



- インターンシップは「リアル」であることから、双方が歩み寄る絶好のチャンス！
- 人材確保をしたいのであれば「選ばれる」ための工夫が必要であることを理解してもらう必要がある
- きっかけから仲間へと巻き込む力が求められる

3 企業側の受入れ環境の整備も行う

©2021.HoriHisano